

令和2年度予算の概要

項目	予算額
受託金収入	5億8,450万円
介護保険収入	2億366万円
障害者福祉サービス収入	4,671万円
補助金・交付金収入	1億8,322万円
収益事業収入	4,197万円
共同募金配分収入	3,023万円
会費・寄付金収入	898万円
その他の収入	1億3,461万円
合計	12億3,388万円

項目	予算額
介護保険関連事業	3億3,944万円
障害者関連施設等管理運営事業	3億6,665万円
地域福祉活動事業	3億603万円
高齢者、児童、母子・父子施設等管理運営事業	2,773万円
法人運営事業	1億3,640万円
その他の事業	5,763万円
合計	12億3,388万円

平成31年度決算の概要

項目	決算額
受託金収入	5億6,414万円
介護保険収入	1億8,432万円
障害者福祉サービス収入	4,272万円
補助金・交付金収入	1億7,368万円
収益事業収入	3,687万円
共同募金配分収入	2,851万円
会費・寄付金収入	9,909万円
その他の収入	1億122万円
合計	12億3,055万円

項目	決算額
介護保険関連事業	2億9,272万円
障害者関連施設等管理運営事業	3億3,396万円
地域福祉活動事業	2億6,160万円
高齢者、児童、母子・父子施設等管理運営事業	2,247万円
法人運営事業	2億3,986万円
その他の事業	5,097万円
合計	12億158万円

*収支差額は次年度へ繰り越します。

会費のご協力ありがとうございます

皆さまからいただきました四日市市社会福祉協議会会費は、地域福祉推進のため、地域の福祉活動支援や福祉ボランティアのまちづくり事業などの財源に充てさせていただきました。ご協力ありがとうございました。令和2年度も皆さまのご協力をお願いいたします。

一般会員(個人・世帯)
…… 1口 500円(年額)
団体会員(自治会・団体・施設・企業等)
…… 1口(500円)以上(年額)
(自治会は原則1世帯15円)

《会費(寄付金)には税制上の特典があります》	
所得税	●所得控除(寄付金控除) 寄付者のその年分(1月～12月)の課税対象となる所得から、該当する額が控除されることをいいます。 税額＝(所得金額－所得控除額)×税率 所得控除額＝寄付金額(総所得金額等の40%を限度とする額)－2,000円 ●税額控除は適用不可となります。
法人税	損金算入限度額があります。

寄付者のメッセージ



4月28日(火)、福祉車両の贈呈式が行われました。

ライオンズクラブ国際協会334-B地区 2019-2020年度キャビネットは社会奉仕団体として活動しております。社会福祉協議会は行政だけではできない部分なども事業として実施していると聞いております。四日市市社会福祉協議会に車両を寄贈する事で、当地区や市社協それぞれの活動のPR及び地域福祉の推進につながることを願っております。(地区ガバナー能津道明様(写真右側)より)

心あたたまるご寄付ありがとうございました

・小林卓夫様・林宏信様・株式会社 セブニーイレブン・ジャパン様・(株)夢グループ代表取締役 石田重廣様・北納屋町大師寺御詠歌講寒行出仕者一同様・公益社団法人四日市市シルバー人材センター様・J S Rビジネスサービス株式会社様、新和薬品株式会社様・積和建設中部株式会社 三重支店 四日市事業所様・大師の寺中金剛講四日市支部講員一同様・日永地区子ども文化育成協議会 レッツ様・三重北農業協同組合 代表理事組合長 門脇孝様・ユニー(株)“小さな善意で大きな愛の輪”運動 アピタ四日市店店長 橋口尚令様、ピアゴ久保田店店長 水谷秀幸様、ピアゴ阿倉川店店長 濱田恭壽様・四日市友の会様・四日市母子寡婦福祉会 書記 笠井清子様・ライオンズクラブ国際協会334-B地区2019-2020年度キャビネット 地区ガバナー 能津道明様

コピー・プリンター・パソコンネットワークなどシステム機器の導入は、三重県下納入実績豊富な弊社にご相談ください。



トータルオフィスプランナーとしてシステムを構築しています!



株式会社 四日市事務機センター

〒510-0891 三重県四日市市日永 2-18-7

tel.059-346-5411

四日市事務機センター

検索

http://www.yjc-c.co.jp

検索



広告



発行

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

四日市市諏訪町2番2号

電話 059-354-8265

ファクス 059-354-6486

E-mail

y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp

令和2年6月20日発行

第150号

特集

緊急事態宣言 つながりを活かした地域の取り組み

P2・3とあわせてご覧ください



地域で集まらない いま、わたしたちにできること

マスク寄贈の様子(詳しくは特集「マスクが必要な人へ届けたい」をご覧ください)

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で生活資金等にお困りの人へ

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した人を対象に、生活福祉資金の特例対応(生活費の貸付)の相談及び申請を受け付けています。受付期間は7月末まで(5月時点)です。

【問い合わせ先】総務課 法人運営係 電話:354-8265 ファクス:354-6486

概要は四日市市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



「社協だより かけはし」は、赤い羽根共同募金配分金を財源として作成しています。

四日市市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らしつづけることができる『福祉のまちづくり』」を目指して、地域の皆さんと協力しながら地域での福祉活動を進めています。

四日市市社会福祉協議会ホームページ <https://yokkaichi-shakyo.or.jp/>

四日市市社会福祉協議会

検索





特集

緊急事態宣言 つながいを活かした地域の取り組み



住民同士の集いの場づくりや助け合い活動の推進、地域の各種団体や福祉専門職などの情報共有やネットワークづくり…これまで四日市市社会福祉協議会が住民の皆さんと一緒にすすめてきた地域福祉活動の多くは、「顔がみえる関係」の中で成り立ってきました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、顔と顔を合わせる機会が奪われ、従来の活動を継続していくことが困難になっています。しかし、そのような状況の中でも、「いま、わたしたちにできること」を考え、実践している人たちがいます。こんな時だからこそ、これまでの「つながり」を活かして、いま何ができるのか、一緒に考えていきましょう。

ポスティングで見守り



月1回、高齢者を対象としたカフェサロン「青空サロン」を開催している日永地区の木村さんです。自粛を受けて、利用者宅に、自宅でできる体操のパンフレットと、「寂しくなったら電話してね」のメモを付けたサロン通信をポスティングしています。「外出を控えて会話が少なくなり、寂しく感じている人たちに、みんなとつながっていることを感じてもらえれば」との思いがあふれています。

いつもの体操を自宅で



週1回、高齢者を対象に介護予防体操を行っている下野・活き域ネットでは、サロンに参加できなくても自宅でいつもの体操ができるようにと、希望者にDVDと体操で使う手足につけるおもりの貸し出しをしています。

理事長の谷口さんからは「非常時だからこそ、『いつもの取り組み』を大切にしています」とお話を伺いました。

マスクが必要な人へ届けたい

持続可能な社会を目指して活動する一般社団法人ネクストステップ研究会は、手元に余っているマスクを有効活用するため、マスクの募集を開始しました。

「余裕のある人がいるなら、必要としている人へ届けた方が良いと思い、募集後の配布先について四日市市社会福祉協議会に相談しました。集まったマスクは市社協を通して必要とする団体へ届けます。ひとつの組織では出来ないことも誰かと手を繋げば実現できます」と代表の寺田さん。



マスクを寄贈するには

手作りマスクは袋に入れ、新品のマスクは未開封の状態でご提供ください。

＜提供方法＞郵送もしくは四日市市なやプラザ事務局（開館時間9:00～21:00 第2月曜日休館）への持ち込み
〔郵送先〕〒510-0045 四日市市蔵町4-17
四日市市なやプラザ

【問い合わせ先】電話：357-1370 ファクス：357-1371

皆さんのアイデアを教えてください！

今回ご紹介した取り組み以外にも、地域にはまだまだ素敵な活動があると思います。四日市市社会福祉協議会では、皆さんの「いま、わたしたちにできること」を募集しています。皆さんの取り組みは、ホームページ等で紹介していきます。ぜひ下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】地域福祉課 電話：354-8144 ファクス：354-6486

三療学術講習会のご案内

三療（はり・きゅう・マッサージ）を仕事としている視覚に障害のある人が、技術向上をめざします。日々の仕事に活かしてみませんか。

対象：市内在住で、視覚に障害があり、三療（はり・きゅう・マッサージ）を仕事としている人

日時：8月20日（木）13:30～15:30

1月21日（木）13:30～15:30

場所：四日市視覚障害者福祉センター

定員：20名 参加費：無料 その他：演題・講師は未定

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる場合があります。

【問い合わせ先】四日市視覚障害者福祉センター 電話：354-5549

いきいきサークル 受講生募集

母子家庭のお母さんや寡婦の人の生きがい・ふれあいの場として、自主サークルの支援をしています。各サークル、受講生を募集します。興味のある人は、ぜひ皆さんとサークル活動を楽しみませんか。

対象：市内に在住または通勤されている、母子家庭のお母さんまたは寡婦の人

日時：編物…第1・3月曜日、午前

手芸…第1・3火曜日、午前

書道…第2・4火曜日、午前

和裁…水曜日（月3回）、午後

（詳細はお問い合わせください）



作品展の様子

【問い合わせ先】

四日市市母子・父子福祉センター

電話・ファクス：354-8277

E-mail：b-f.center@yokkaichi-shakyo.or.jp

市障害者福祉センターからのお知らせ

WITH

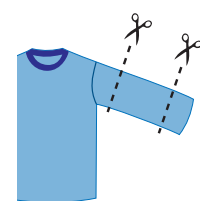
～ウィズ・・障害のある人と共に～

切るだけマスクの作り方

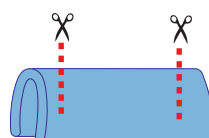
マスク不足を補うために手作りマスクにチャレンジしたい！でも細かい作業やミシンや手縫いは苦手という人に。ハサミで切るだけで簡単にできます！



①長袖Tシャツを用意します



②顔の大きさに合わせて、袖をカットします



③カットした袖を2つに折り、「わ」の部分に切り込みを入れます（赤線）



④実際にはめながら、耳穴の大きさを加減しましょう



あいだに不織布を挟んだり、ワイヤーを入れこんでもいいですよ

障害者福祉センターでは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止していた様々な事業を6月から再開しています。3密を避けるため、やむを得ず利用定員を制限しての実施となっていますが、その中でも最大限の効果を上げられるよう、内容の再検討や環境整備を行い、安心・安全を心がけて提供していきます。ご利用の皆さんには、大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

四日市市障害者福祉センター

電話：354-8275 ファクス：354-8426

E-mail：y-with@m3.cty-net.ne.jp

新任職員紹介 Part1

令和2年度から入職した職員を紹介していきます

磯貝 祐太

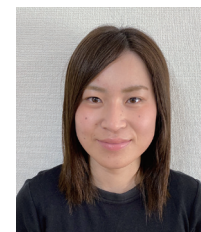
地域福祉課
地域福祉推進係



成年後見制度の利用に関する業務に携わせていただくこととなりました。昨年度までは名古屋市障害者支援施設で働いていました。地域福祉や社会福祉協議会としての業務は知識不足、経験不足ではありますが、早く皆さんのお力になれるように頑張りたいです。

宮島 有実英

福祉支援課
障害者自立支援施設
たんぽぽ



たんぽぽでは、日々の取り組みが利用者の活力となり、身体的・精神的安定につながるよう、活動の場を提供しています。利用者お一人おひとりに合った、よりよい支援が行えるように頑張っていきたいと思ひます。